

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

| 事業番号：C-4-2 | | | | | | | |
|--|--------------------------|---|--|--------|---------|-------------|--------------------------|
| 事業名：亶理町いちご団地造成事業 | | | | | | | |
| 事業費：総額 9,586,631 千円 国費 7,189,974 千円 (内訳:委託料 129,582 千円、工事請負費 9,457,049 千円) | | | | | | | |
| 事業期間：平成 23 年度～平成 28 年度 | | | | | | | |
| 事業目的：東日本大震災により被害を受けた、本町の特産品であるいちご生産について、被災農家の営農再開支援といちごの更なる生産力向上を図るため、町内 3 箇所で大型園芸施設の整備を行う。 | | | | | | | |
| 事業地区：吉田地区 | | | | | | | |
| 事業結果 吉田地区 619,509.19 ㎡ (浜吉田団地 346,687 ㎡、開墾場団地 200,155.19 ㎡、逢隈団地 72,667 ㎡) <平成 23 年度>設計・測量業務 <平成 24 年度>設計・測量・監理業務、造成工事、ハウス関連工事、外構等工事 <平成 25 年度>外構等工事 <平成 27 年度>防風ネット設計・測量等委託、防風ネット設置工事 <平成 28 年度>防風ネット設置完了 ※平成 25 年 12 月より使用開始 (浜吉田団地 59 名、開墾場団地 28 名、逢隈団地 17 名) | | | | | | | |
| 事業の実績に関する評価 | | | | | | | |
| <p>① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価</p> <p>○当該事業で整備したいちご団地は、作付面積の 93%が被害を受けた東北一のいちご生産を復活させるため、新たな産地づくりとして町内 3 箇所に大型園芸施設を整備し、99 名のいちご生産者が平成 25 年から入植、営農を再開し、新生産方式の栽培により生産力向上が図られている。</p> <p>⇒ 上記を踏まえ、本事業は事業目的に即した効果を発揮していると判断する。</p> | | | | | | | |
| <p>② コストに関する調査・分析・評価</p> <p>○工事費積算については、土木工事標準積算基準などの適切な算定根拠に基づき行われている。</p> <p>⇒ 上記を踏まえ、本事業に要したコストは妥当と判断する。</p> | |  | | | | | |
| <p>③ 事業手法に関する調査・分析・評価</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>想定事業期間</th> <th>実際の事業期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>調査・設計・測量・工事</td> <td>平成 23 年 12 月～平成 26 年 3 月</td> <td>平成 23 年 12 月～平成 28 年 8 月</td> </tr> </tbody> </table> <p>○当初の事業計画は測量や設計だけで全体計画ではなく、当初の計画以降に計画を追加し、全体計画を変更したため、事業期間延長となった(事業結果参照)。また当該事業の整備が行われたことにより、いちご産地の復活をはじめとする生産力の向上、安定供給などが図られた。</p> <p>⇒ 想定した事業期間には遅れたものの、関係機関と連携し入植予定者の意向を積極的に反映(防風対策)しながら、効率的に事業を進めたため、事業手法として妥当と判断する。</p> | | | | 想定事業期間 | 実際の事業期間 | 調査・設計・測量・工事 | 平成 23 年 12 月～平成 26 年 3 月 |
| | 想定事業期間 | 実際の事業期間 | | | | | |
| 調査・設計・測量・工事 | 平成 23 年 12 月～平成 26 年 3 月 | 平成 23 年 12 月～平成 28 年 8 月 | | | | | |
| 事業担当部局 宮城県農政部農業振興課経営構造対策班 電話番号：022-211-2835 亶理町農林水産課農政班 電話番号：0223-34-0503 | | | | | | | |